

# 令和7年度 第3回 神奈川県立伊勢原高等学校 学校運営協議会 議事録

I 日時 令和8年3月9日(月)15:00～16:50

II 場所 本校会議室

III 参加者 (委員6名)

石田 誠 様(伊勢原高等学校PTA会長)

田中 昇 様(伊勢原高等学校同窓会長)

宮林 貴子 様(伊勢原市立山王中学校長)

成川 忠之 様(東海大学経営学部 教授)

平田 哲也 様(伊勢原北地区青少年健全育成協議会青少年指導員)

澤田 裕 (伊勢原高等学校長)

(本校職員 12名)

○ 管理職 北村副校長、小俣全日制教頭、宮本定時制教頭

○ GL 石井(学務)、美馬(キャリア支援)、川井(生徒支援)、  
井上渉(学校管理)、斉藤芙(生徒指導)、天野(研究渉外)、  
中尾(定カリ/支援)、梶本(定生・保/管理)

○ 記録者 廣澤(研究渉外)

## IV 概要

### 第一部 全体会、学校運営協議会・学校評価部会【15:00～16:30】

#### 1 校長挨拶

(1) 直近の全日制・定時制(以下、「全定」と呼ぶ)の様子について  
→3月2日(月)に全定の卒業式実施。

① 全日制:237名

② 定時制:10名(3年:4名、4年:6名)が卒業。

(2) 入学者選抜について

①全日制

ア 一般:228名

イ 在県:9名

ウ インクル:18名 計255名が合格。

②定時制:募集停止しているが最後の学年が卒業するまで生徒在籍。

## 2 令和7年度 学校評価(実施結果)について

### 【全日制】

#### (1)教育課程・学習指導について(学務 GL・研究渉外 GL)

##### ① 1月「教育課程アンケート」実施。

→ (別紙資料)大きな問題無かったものの、

ア 1年生:授業内容について「難しすぎる」と思っている(63.4%)。

イ 2年生:「興味が持てなかった」(38.7%)、「進路に必要な科目設定なし」(9.7%)。

ウ 3年生:「難しすぎる」(45.5%)、「興味が持てなかった」(18.2%)。

など心配な点は残るので、補習・講習で対応していく。

##### ② ◆組織的な授業改善、「ICT 利活用授業研究推進校」としての取組みとして、11/7(金)に「公開研究授業」を実施。

→ 生徒による授業評価の「学習の中で、他者の考えを知り、自ら考えを広げ深める機会がある」の学校平均3.2の達成という目標に対して、7月と12月のアンケートの結果「3.25」であった(県と保護者に報告)。

##### ◆11/18(火)より全ホームルーム教室に **75 インチの「電子黒板」**設置。

→ 今まで生徒・教員が利活用していた Chromebook との相性が良く、タッチパネルも使いやすい。今後はさらに新たなアプリ・ソフトなどを取り入れた研修をしていきたい。

### 【委員よりご助言・ご意見・ご質問】

石田委員:「学年によっては授業の内容が『難しすぎる』との意見があるが、分析やさらなる追求をしたか？」

石井 GL:「とくに生物・化学・数学の科目で苦手意識を持っている生徒が目立つので、『個別指導』で生徒の困り感に 대응できるようにしている。」

田中委員:「生徒が難しいと感じている理系に力を入れてあげてほしい。大学進学が多いので、しっかり理解できるような工夫をお願いしたい。」

成川委員:「特に化学・生物・数学の科目で、受験勉強や理系のためだけでなく文系の生徒のことも考えたバランスのある指導をお願いしたい。」

石井 GL:「1年生で『化学基礎』、2年生で『数学Ⅱ』を全生徒が共通履修している状況で、2年生で理系が『生物基礎』『物理基礎』、文系が『科学と人間生活』を履修している。文理の進路を考えつつ、生徒の理解も意識した授業づくりにいっそう励んでいきたい。」

宮林委員:「子どもは『視覚』的なものから学習に入りやすく、とにかく楽な方に学習が流れがちな生徒がいる。ICTだけでなく、書かせたり、いろいろな学習活動を試したりした上で進路選択させてほしい。」

平田委員:「先生方においては授業一つとっても昔と違いいろいろな生徒に合わせるのが大変だと思うが、ぜひ宜しくお願いしたい。」

## (2) 生徒指導・支援について(生徒支援 GL・生徒指導 GL)

### ①「学校行事」「生徒会活動」について

ア 生徒同士が協力し合って行事を作り上げている。

イ 生徒がさらに主体的に生徒会活動ができるように支援していきたい。

### ②「生徒指導」「教育相談」について

ア 各種研修会を実施。

→ 生徒の問題の早期発見ができた。

イ 今の本校生徒に合った支援ができ、外部機関との連携もできた。

ウ 生徒には日常は厳しめにルールを守らせ、行事ではやりたいことをやらせた。

## 【委員よりご助言・ご意見・ご質問】

平田委員:「外部から見ている伊勢原高校の生徒は問題無いように見える。」

宮林委員:「学警連における中高の情報共有はありがたい。SC・SSWには毎週交互に来ていただいている。生徒が教員以外にも話しができるのはありがたい。」

成川委員:「AIは知識を与えてくれるが、生徒がビジネスパーソンとしてこれから求められる『社会的実践力』、人と話しをする『ポータブルスキル』を身につけられるようにしてあげてほしい。」

田中委員:「生徒は学校・家庭以外で人と関わる機会が少ない。その意味で行事は外部の人と関わる良い機会である。」

石田委員:「行事は、『力を持った社会人』の育成につながると思う。SC・SSWだけでなく教員も『聞き取る力』を負担のない形でスキルアップしてほしい。」

## (3) 進路指導・支援について(キャリア支援 GL)

### ① 生徒の進路選択の現状と進路指導について

ア 生徒の受験方法として、「総合型選抜」「指定校推薦」「公募制推薦」が主流。

→「筆記試験(基礎学力試験)」で不合格になる生徒が増加。

イ 4年制大学進学者が昨年度 47%→今年度 52%(5%増加)。

- ウ 「総合型」で「プレゼンテーション」を課す大学が増えている。  
→各学年でバラバラに指導するのではなく、キャリア支援グループ  
主導で対策方法を模索し、組織的に指導していきたい。
- エ 「一般入試」の結果は総じて厳しい。  
→「日本大学(法)」に合格した生徒がいた。

◆【委員よりご助言・ご意見・ご質問】

- 石田委員：「キャリアについて計画を立てさせ、1年生から『プレゼン力』をつけさせてあげたい。自分の興味が持てる分野を早くから気づかせてほしい。」
- 田中委員：「自分がどういう進路に進むか決まらない生徒を方向付けてあげてほしい。一方で、就職という選択肢も考えさせてほしい。」
- 成川委員：「大学に入る前から『将来したい仕事』『なりたい人物像』を考えさせ、それを実現するためにはどういう大学・学部に入ったらいいかを考えさせてほしい(=PBL[Professional Business Learning])。』
- 宮林委員：「最近、『総合型』で求められる『基礎学力』『プレゼンテーション力』は中学でも育成しなければならない。」
- 平田委員：「入試方式も変化めまぐるしい。情報を的確に伝えてあげてほしい。」

(4) 地域等との協働について(学校管理 GL・研究渉外 GL)

- ① 「清掃活動」(学年)だけでなく、「部活動」「委員会」でも地域行事に参加した。  
また、「道灌祭り」は「行列」に参加した。
- ② 「広報活動」について
- ア 生徒会・国際生徒による学校説明会:850 家庭、1800 名参加。
- イ 入学者選抜:志願変更前倍率1.13 倍、最終倍率1.12 倍。
- ウ 本校 HP のブログ「Today's いせはら」「部活動の活動状況」  
→頻繁に更新。

◆【委員よりご助言・ご意見・ご質問】

- 平田委員：「地域行事で高校生が活躍できる場がたくさんある。ぜひ、手伝ってほしい。」
- 宮林委員：「生徒が自発的に行事に参加できていて感激した。」
- 成川委員：「生徒が学校説明会で話すということでやらさせられている感はないか？」

天野 GL:「生徒が9割話しているが、事前に何度も練習し、意欲的にやってくれている。生徒会では先輩から後輩へ傳承されており、毎年会長が『会長の日』という動画を自ら作ってくれている。」

田中委員:「大山登山マラソンに今年も本校陸上競技部の生徒・教員が参加した。特定の生徒だけでなく、広く募ってほしい。」

石田委員:「HP 更新を通して生徒が自分たちの意見を発信できる機会ができてよかったと思う。」

#### (5) 学校管理・学校運営について(学校管理 GL)

##### ① 「事故不祥事防止職員アンケート」

→回答率:80%、正答率:昨年度を上回った。

##### ② 「VR ゴーグル」を使用した「DIG 研修」を実施。

→「地域との協力」を生徒が考える企画を考えたい。

#### ◆【委員よりご助言・ご意見・ご質問】

石田委員:「避難所開設の手順を知ってほしい。きっと防災意識が高まると思う。」

田中委員:「(事故不祥事防止について)信頼されているからこそ県民の目は厳しい。(防災について)本校は広域避難場所に指定されている。生徒だけでなく、地域住民の受け入れは可能か?どのような援助ができるか?検討してほしい。」

成川委員:「ハラスメントに対する意識の高まりとともに事故不祥事の範囲が広がっている。対生徒でも伝え方には慎重にしたい。」

宮林委員:「災害時における高校生の力は大きい。保護者に代わり幼い兄弟のお迎えなどもできる。」

平田委員:「防災訓練をやらないわけにはいかない。」

#### 【定時制】 (以下、定時制 GLより説明。)

##### (1) 教育課程・学習指導について

① 人数が少ないので指導がきめ細かにできた。また、教員同士の授業互観により指導内容・方法の研究が進み、生徒の意欲・理解度が上がった。

② 「電子黒板」の効果的な活用方法を研究・共有していきたい。

#### ◆【委員よりご助言・ご意見・ご質問】

平田委員:「(従来型の)黒板は無くなるのか?また、次回は(実践として)どのように使っているのか教えてほしい。」

宮林委員：「卒業生の話しを聞く機会があり、きめ細かな指導を感じた。」

成川委員：「ChatGPT(OpenAI 社)やメタ(旧 Facebook 社)の社長なども言っているが、(学校教育において)まず『手書き』をすることで『思考する』ことが大事である。先生方には『板書へのこだわり』や、デジタルだけでなく生徒に**紙に書かせる**のもしてほしい。」

田中委員：「一人ひとりに合った指導を続けてほしい。」

石田委員：「入学時と卒業時の生徒の顔が違う。大学にも受かっている。」  
「生徒が『意欲的に取り組む』とあるが、それはどのようなところからそう言えるか？」

中尾 GL：「授業内でいろいろ質問をしてくる。もっと勉強したいという感じが伝わってくる。」

## (2) 生徒指導・支援について

### ① 「学校行事」について

ア 全日制の行事に便乗するだけでなく、生徒が企画した。  
→文化祭 11%、体育祭 17%参加率向上。

### ② 「教育相談・支援」について

- ア 外部機関と連携し、「療育手帳」取得を支援。  
→外部機関と連携し、卒業後の自立を視野に入れた支援を行った。
- イ 「コミュニケーション力不足」対策として、学年を越えて「アウトプットする機会」を作った。
- ウ 生徒の「欠席」が減少した。(=学校生活が充実しているからか)  
→家庭の経済状況が不安定な家庭があり、アルバイトで疲れて遅刻する生徒もいた。

### ◆【委員よりご助言・ご意見・ご質問】

石田委員：「欠席を減らせるようにしたのはすごい。療育手帳取得についても生徒一人ひとりの状況を見てくれた結果だと思う。」

田中委員：「昔と違いとても親身。定時制において教員が『親のような存在』になっている。(自身が定時制卒業で)『4年間通う』という経験が(生徒にも)卒業後も体験として生きている(と思う)。」

成川委員：「学年を越えて何かをするというのは定時制ならでは。いろいろな生徒がいる中で『学校行事』での交流はコミュニケーション不足にとっても有効。」

宮林委員：「募集停止により人数が減ると行事への参加について工夫が必要。『自己有用感』が感じられるようにしてほしい。」

平田委員：「生徒が減っても教員がチームで頑張してほしい。」

### (3)進路指導・支援について

- ① 外部機関による「就職・進学等のガイダンス」実施。
  - 「キャリア(進路)意識」を高められるよう指導。
  - ア ハローワークの「就職ガイダンス」
  - イ キャリアサポート業者の「キャリアガイダンス」
  - ウ 「分野別説明会」「企業見学」(全校生徒対象)
    - 1学年から進路希望について考える機会を作った。
  
- ②面談で生徒自身が自分の「適性」と「進路先」を結び付けられるようになった。
  - 消極的だった生徒も「進路活動」に取り組めるようになった。
  - 早い段階から自らの適性に気づき、それに合った進路について考えられるような機会を設けられるようにする。

#### ◆【委員よりご助言・ご意見・ご質問】

平田委員:「就職後に辞めてしまうこともあるので、事前の指導を入念に。」

宮林委員:「引き続き指導をお願いしたい。」

成川委員:「売り手市場で大学新卒5%が1か月で退職。生徒に合った進路を考えさせてほしい。」

田中委員:「1・2年生でも雇ってもらえるなら夕方まで働きながら、夜定時制で学ぶというのも・・・。」

梶本 GL:「中卒で雇ってくれる企業はとても少ない。」

田中委員:「そういう状況であるなら3・4年の就職指導で頑張らせてほしい。」

石田委員:「『適性』を早め早めに意識させるために先輩を呼ぶのもいいかもしれない。」

### (4)地域等との協働について

- ①「地域貢献活動」について
  - ア 9月「地域清掃」実施。
  - イ 「放課後デイサービスのボランティア」を複数回実施。
    - 「ボードゲーム部」:生徒が小学生の相手をする。
    - 全日制の生徒・教員との交流で、会話が増えた。
  
- ②「広報活動」について
  - 定時制のHPを更新。→他校の定時制に行く生徒もいるかもしれない。

#### ◆【委員よりご助言・ご意見・ご質問】

石田委員:「HP更新を続けることで定時制がすたれないようにしてほしい。」

田中委員：「清掃活動を通じた地域との接触を継続してほしい。」

成川委員：「『ボランティア』＝『学び』ととらえ、楽しみながらできるのが素晴らしい。」

宮林委員：「全定のつながりに加えて、定時制が地域とつながり続けられるよう取り組んでほしい。」

平田委員：「今後もよろしくお願ひしたい。」

## (5) 学校管理・学校運営について

### ① 職員の「不祥事防止」について

各月のテーマについて職員会議で研修。

→同じ形態の研修のため新たな取組みを検討。

### ② 「防災教育」の取組みについて

ア 「県総合防災センター」で全生徒が「体験学習」

→体感として怖い・危ないという体験ができた。

イ 3学期には1学年が「DIG訓練」実施。

→学校周辺地域の災害対策を学ぶ。

## ◆【委員よりご助言・ご意見・ご質問】

平田委員：「すごく良い。」

宮林委員：「引き続きお願ひしたい。」

成川委員：「就職しても防災は必要な力である。」

田中委員：「夜に災害が起きたとしたら、その対応はとても難しい。」

石田委員：「生徒がどういふことをハラスメントと捉えるのか意見集約をしてほしい。また、それらの意見を生かしてほしい。」

## 第二部 教育活動部会・地域連携部会【16:30～16:50】

### 1 学校の様子紹介(別紙資料の説明)

#### (1) 地域との協働活動について

#### 【全日制】(生徒支援 GL)

##### ① 陸上競技部:

ア 小田原市 小学生陸上競技教室(指導補助)

イ おだわらキッズマラソン(役員補助)

ウ 大山登山マラソン(選手受付) など

##### ② 生徒会本部役員・吹奏楽部:

障がい者スポーツ大会(入場介助・参加者介助)

- ③ ボランティア委員：  
歳末たすけあい募金運動(伊勢原駅前)
- ④ 女子バレーボール部、希望者1名：  
道灌祭り(行列参加)
- ⑤ 軽音楽部：  
道灌祭り(演奏)

### 【定時制】

- ① ボードゲーム部：  
小学生放課後デイサービス(ゲームの説明・交流)

## (2)部活動実績(生徒支援 GL)

### 【全日制】

(別紙資料)主だったものの説明。

#### 県立学校生徒表彰(県教育委員会)

- ① 団体賞
  - ア 女子バレーボール部
  - イ 軽音楽部
  - ウ 吹奏楽部
- ② 個人賞
  - ア 男子ソフトボール部 3学年生徒
  - イ 美術部 2学年生徒

### 【定時制】(定時制教頭)

神奈川県 高等学校定時制・通信制 作品展  
〈美術部門〉 神奈川新聞社賞(県2位) 受賞

県央県北地区 高等学校定時制・通信制 芸術作品展

- ア ポスターの部 銅賞
- イ 絵画の部 金賞、銀賞
- ウ 工芸の部 金賞
- エ 文芸の部 銀賞

## 2 質疑・応答

なし